

水産業×再エネ

塩釜市団地水産加工業協同組合のBDF製造 (塩竈市)



塩釜市団地水産加工業協同組合では、環境に優しいエネルギーであるBDF (バイオディーゼル燃料※3 ⇒ P26 参照)を活用した取り組みを行っています。

塩竈市の基幹産業は水産加工業であり、中でも揚げ蒲鉾生産量が多いことから、その使用済み油を活用して、BDF化事業を行っています。BDF化事業によって廃食用油を資源へと転換することができ、塩竈市の地域特性を活かした資源循環型社会の構築と、二酸化炭素排出量を削減するとともに、事業のPR効果による水産加工業の活性化を図っています。

廃食用油の回収先は、揚げ蒲鉾工場が9割を占め、回収した廃食用油は、精製プラントで様々な工程を経てBDFにしています。精製したBDFは車両等に給油するため、不具合を起こさないよう、品質分析も実施しています。組合で分析できない項目は、公的な分析機関に依頼し、品質管理に努めています。



給油の様子

Keyman's VOICE

塩釜市団地水産加工業協同組合
施設課長 伊藤 潤 さん

この事業は、企業や行政が一体となって取り組んでいます。毎年、市内の小学4年生が校外学習としてBDFプラントの視察を実施するなど、環境教育にも貢献しています。



給油機

所在地	塩竈市新浜町 3-24-1
アクセス	三陸自動車道利府中 IC から車で 10 分
エネ種・規模	バイオディーゼル燃料 約 1,200L / 日製造
活用した補助事業	平成 17 年度 環境と経済の好循環まちモデル事業 (環境省)
運営主体	塩釜市団地水産加工業協同組合
連絡先	TEL: 022-362-8111

石巻魚市場 (石巻市)



東日本大震災により被災した旧石巻魚市場は、国内最大級(全長 876 m)の地方卸売市場として再建されました。

平成27年9月1日に全面供用開始され、四季を通じて、多くの新鮮な魚介類が水揚げされています。

新しい魚市場には、災害時にも市場機能を維持するため、太陽光発電や蓄電池を導入しています。

また、魚市場向けエネルギー情報統合管理設備 (FiEMS) を導入し、電力利用状況の把握と、電力自動制御を可能にしたことで、市場での電力利用の効率化と節電を実現しています。



鳥避け用風力発電設備

太陽光パネルへの鳥害(糞の汚れによる発電効率低下)を防止するために設置した「忌避音発生装置」に、風力により発電した電力を供給しています。



石巻魚市場の屋根に設置された太陽光発電設備

通常は、太陽光により発電した電力を市場に供給するほか、夜間は蓄電池を活用し、省エネルギーを推進しています。

所在地	石巻市魚町 2 丁目 14 番地
アクセス	三陸自動車道石巻河南 IC から車で 20 分
エネ種・規模	太陽光発電 549.5kW、蓄電池 484kWh、小型風力発電 5kW、FiEMS
活用した補助事業	水産基盤整備事業 (水産庁)
運営主体	石巻市、石巻魚市場株式会社
市場見学	市場見学可 ※ HP「見学時の注意事項」要確認 ※ 職員による案内を希望の場合は申込が必要
連絡先	TEL: 0225-96-1021